



『NPOと行政の子育て会議』はNPOと行政が足並みを揃え、  
地域に根ざした子育て支援を目指しています。

## クオウト目線

## 小児科の診察室から見える現代の子育ての課題

片山キッズクリニック 片山啓

子どもたちの病気のときのホームケアの方法には、昔と今で大きく変わったものがあります。いくつかをあげてみますと、

- 1) 熱を出したときには、「汗を出せばいいと包み込む」のではなく「熱が高ければ高いほど薄着にして冷やす」、「風に当ててはいけない」ということはなくて「十分に部屋を換気する」のが正解。
- 2) 嘔吐したときには「何も与えない」のではなく「吐いた後 30 分くらい休ませてから、塩分と等分を含んだ水（イオン飲料）を、10 分間隔で 1~2 口ずつ小刻みに与える」
- 3) 下痢したときには「ミルクは薄めて与える」のではなく「いつもと同じ濃さで与える」
- 4) 「生後 2~3 ヶ月になったら母乳やミルクだけでなく白湯やジュースを与えて離乳の準備をする」のではなく「ジュース類は与えない」ことになった。などがあります。

こうした変化に伴っておばあちゃん世代の育児の経験による知識が否定される場面が増え、おばあちゃんたちが育児に自信をなくしてきています。それだけでなく、孫は「預かり物、何かあったらこどもに申し訳ない」という気持ちから腰が引けているところに、経験否定ですから、「孫の世話は出来ない」という方が増えてきているのです。「家庭の子育て力」にとってこれは由々しき事態、子育てにおけるお母さんの最大の味方が戦線離脱しては、子育ては危機に瀕します。おばあちゃんたちの子育て知識をアップデートすることが急務です。

共働きの家庭が増え、保育園や病児保育を利用する人も増えてきました。こうしたお母さんたちは、仕事をすることで気分転換もでき、保育園などを通じて子育て情報も容易に手に入れることが出来ます。お父さんたちも協力的な人が増えてきました。そう、「お父さんたちも結構頑張っている」のです。

その一方で今問題になっているのが、専業主婦のお母さんたちです。都市化が進む中で近所の人とのつながりがどんどん希薄になり、お隣さんと話をするのも減多になくなったところで、赤ちゃんと一日中家の中で「いらめっこ」。どんどん気持ちが減入り、煮詰まってきているのです。そうした中で思わず子供に手を上げてしまったというお母さんは少なくないはず。それでまた落ち込んで…。こうしたお母さんを外に連れ出して、人とのつながりを作り、悩んでいるのが自分だけではないこと、みんながいろいろな工夫をしていることなどを知らせてあげる必要があります。保育園などに「一日母子入園」し、保育のプロたちのテクニックを学んでもらうというのもありかもしれません。

世代を超えて、地域の人々のつながりを再構築し、「子育ては地域でするもの」という意識が定着していけば、子育てに悩む人も少なくなるのではないのでしょうか。保育園、幼稚園、小児科医、子育てNPOなど、子育てにかかわる「プロ」達が連携して、そんな子育て環境を作ることが出来ればと思っています。

片山キッズクリニックホームページ <http://www.katayama-clinic.jp/katayama/>

団体で開催される情報をお寄せください!!!

「かけはし」にイベント情報を掲載させていただきます☆  
ウイズネイチャーまでご連絡下さい♪



## ちきゅうをかんがえよう ecokids

神戸「花鳥園」で花と鳥の生態を学ぼう♪  
そのあとは、カメラを使って写真撮影をしよう!!!

☆開催日時：2011年9月10日(土)  
10:00~14:00

★場所：神戸 花鳥園(ポートアイランド)

☆対象：小学1年生から中学3年生の親子

※10組

★参加費：親子で1000円

♪申込・問合せ：

公益社団法人こども環境フォーラム

TEL 078-371-8899 FAX 078-371-8809

ホームページ <http://www.yef.jp/>

※詳しい内容などはホームページをご覧ください

東日本大震災子育て支援

## 親子ごはん会

~みんなで一緒に楽しく作って食べませんか♪~

※日時：9月20日(火) 10:00~13:00

※場所：生活創造センター 創作工房A

※対象：一時避難されているママと子ども

※メニュー：手作りうどん・おにぎり

※参加費：大人500円 子ども100円

(食事不要なら無料)

※予約・問合せ：神戸ぼけっとnet.事務局

(NPO法人 ウイズネイチャー)

TEL/FAX 078-621-3127 mail: [office@with-n.org](mailto:office@with-n.org)

神戸ぼけっとnet.ブログ：

<http://ameblo.jp/kobepocketnet/>

# チルドリン秋のママまつりin神戸

ママによるママのための『試せる、学べる、創れる、癒される』ママイベント☆☆☆

色々な催し物が盛りだくさんです(\*´▽`\*)

開催日時：2011年9月23日(金・祝) 11:00~17:00

開催会場：神戸ハーバーランドセンタービル B1 スペースシアター

お問い合わせ：NPO 法人チルドリン

mail:atelier@child-rin.com

HP:http://atelier.child-rin.com/

☆出店内容などはホームページからご覧ください♪



## 潜入取材

8月8日(月)に兵庫県主催する「食の安全安心について学ぼう!!親子バスツアー」に参加し潜入取材してきました!!兵庫県から参加した親子のみなさんは、食の安全安心に興味のある保護者や、自由研究の題材にといった子どもたちが中心でした。まずキューピー(株)伊丹工場の見学。工場内では1分間に600個の卵を割る割卵機や、機械で容器の中にマヨネーズを詰め包装する工程などをみる事ができました。子どもたちは疑問に思ったことを聞いたり、メモにとったり勉強熱心です。午後からはグループに分かれて「食の安全安心についてのクイズ」「手洗い実験」「参加者同士の食の安全安心についての疑問・意見交換」を行いました。手洗い実験では、自分の手の汚れに驚いて、何度も手を洗いに行く子どもの姿や、しっかり洗っているつもりでも汚れは取れていないと驚くお母さん方の姿がありました。疑問・意見交換の場では「アイスには賞味期限がない?」「中国の食べ物を食べるのが怖い」「賞味期限が過ぎた物でも食べることができると聞いた。どんな物でも食べれるの?」「添加物はいっぱいとっても大丈夫?」といった様々な疑問を子ども達は持っていました。すべての過程を終了した子どもには『食の安全安心マイスター認定書』が渡され嬉しそうにしていました。

私も食のイベントに参加することで、食に対しての興味や関心が湧きました。今後たくさんの親子に、食に関するイベントに参加し、食について考えるきっかけとなればと思いました。

## ☆団体紹介☆

S-space 理事長の越智正篤さんは、保育園で働いていた時に、母親から「小学校行ったら見てくれるとこないから仕事やめなアカン。」という声を聞き「それなら!!」ということで『S-space』として最初に“民間学童保育所 摩耶児童保育所”を立ち上げました。その後、神戸市から委託を受け“六甲道児童館”、保護者からの委託を受けて“たつのご学童保育所”を運営しています。他にも、自分のしたいことを自分の責任で行える「冒険遊び場“みんなでわんぱく”」、地域の中高生の居場所・新たな活動拠点として“ユーステーション灘”、神戸地域のPTA・地域団体・子育てサークルやNPOなどの自主的な親子広場の開催を支援する“親広場事業”を行なっています。

取材当日は、JR六甲道からほど近い六甲道児童館に行かせて頂きました。六甲道児童館でもさまざまな取り組みをされています。児童館と地域のネットワーク化を進め、秘密基地づくりと同時に自由に工作できる環境提供のため『トンチンカンチン大工さん』。実際、六甲道児童館内には、大きな秘密基地がありました!!地域内の各家庭の「やってみたい」「〇〇ならできる」を集め実現に向けてコーディネートする『親父の背中 project』。「どんぐり1個=1ぐり」という通過単位を設定し、児童館内のお店にて地域で拾ってきた「どんぐり」で1日1商品を買うことができ、社員として商品を作り、売れた10%を給料として支払われる、擬似社会体験を通じ経済を学ぶことのできる『どんぐりマーケット』が行われています。児童館自体はとても広く、乳幼児でも使えるように畳の部屋や、授乳室があり、さまざまな配慮がされています。

『S-space』は『知力、体力、時の運、それに表現 責任を!!』とテーマに掲げており、様々な実体験を通じて子どもたちだけでなく、保護者・指導者・協力者・関わるすべての人々との出会いや縁を大切にしながら「みんながほっとできる場」を作っていきたいと理事長の越智さんはおっしゃっていました。



『トンチンカンチン大工さん』  
で作った秘密基地です!!!

六甲道児童館ブログ  
[http://blog.livedoor.jp/rokkomichi\\_jidokan/](http://blog.livedoor.jp/rokkomichi_jidokan/)



NPO 法人 ウィズネイチャー「NPO と行政の子育て支援会議」運営事業担当(村中)

〒653-0042 神戸市長田区二葉町5-1-1-110

TEL/FAX 078-621-3127

URL <http://with-n.org> E-Mail [muranaka@with-n.org](mailto:muranaka@with-n.org)

